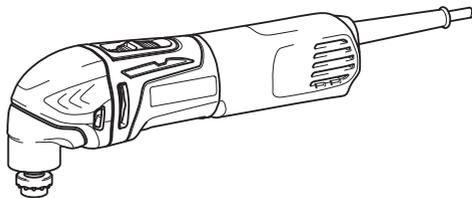


# Makita

## 取扱説明書

## マルチツール

☐ モデル TM3000C



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。

マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはマルチツールをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



# 目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ マルチツール安全上のご注意	7
・ 各部の名称および標準付属品	9
・ 別販売品のご紹介	10
・ 使い方	11
・ 先端工具の取り付け・取りはずし方	11
・ スイッチの操作	13
・ 振動数調整ダイヤルの操作	13
・ 六角棒レンチの収納	14
・ 作業方法	15
・ 切断、はく離作業	15
・ 研磨作業	16
・ 集じんアタッチメント（別販売品）との接続	17
・ 保守・点検について	19
・ 本機のお手入れ	19
・ ご修理の際は	19

# 主要機能

主要機能	モデル	TM3000C
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相交流 100 V
電流		3.4A
周波数		50-60Hz
消費電力		320W
振動数		6,000 ~ 20,000min <sup>-1</sup> (回 / 分)
振動角度		左右 1.6° (計 3.2°)
本機寸法		長さ 274mm × 幅 64mm × 高さ 92mm
質量		1.4kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **⚠ 警告** ・ **⚠ 注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

**⚠ 警告**

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠ 注意**

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。なお **⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**注**

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

# 安全上のご注意

JPA001-19

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## ⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
  - ・ 発火の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を近付けないでください。
  - ・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・ 作業者以外、作業場へ近付けないでください。
4. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。また、電源プラグを改造しないでください。
  - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
5. 感電に注意してください。
  - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
6. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
  - ・ 感電する恐れがあります。
7. コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
  - ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。
  - ・ コードが損傷し、感電する恐れがあります。
8. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
9. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいたりするときは、電動工具を使用しないでください。

## ⚠ 警告

- 10.安全保護具を使用してください。
  - ・ 作業時は、常時保護めがねを使用してください。滑り防止安全靴・ヘルメット、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- 11.防音用保護具を着用してください。
  - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
- 12.不意な始動は避けてください。
  - ・ 電源コンセントにつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
  - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 13.電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
  - ・ 電源を入れる前に、調整に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- 14.無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- 15.きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 16.集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
  - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
- 17.無理して使用しないでください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- 18.作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 19.損傷した部品がないか点検してください。
  - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- 20.次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ・ 使用しない、または修理する場合。
  - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - ・ その他危険が予想される場合。
- 21.使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具またはその説明書に不慣れな者には電動工具を使用させないでください。

## ⚠ 警告

### 22. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

#### <異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ピリピリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

### 23. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

### 24. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

### 25. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

### 26. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)

この取扱説明書は、大切に保管してください。

## ●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

# マルチツール安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、マルチツールとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB207-3

## ⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業をする箇所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを作業前に確認してください。
  - ・ 埋設物があると、先端工具が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生してたりして、事故の原因になります。
3. 使用中に振り回されないよう、本機を確実に保持してください。
  - ・ 確実に保持しないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、先端工具や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
  - ・ けがの原因になります。
5. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
6. 誤って落したり、ぶついたりしたときは、先端工具や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
7. シリカや石綿は人体に有害です。このような材料を加工するときは、飛散防止対策や防じん対策をしてください。
8. 金属を研磨すると火花が飛ぶ恐れがあります。引火または爆発の危険性がある場所では、絶対に使用しないでください。
  - ・ 火災の原因になります。
9. 金属を研磨するときは、吸じん機能を使用しないでください。
  - ・ 火災の原因になります。
10. 可燃性の雰囲気で作業しないでください。
  - ・ 火災の原因になります。
11. 湿った場所で作業しないでください。
  - ・ 感電の原因になります。

## ⚠ 注意

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - ・ 確実でないとはずれたり、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - ・ けがの原因になります。
3. 作業直後の先端工具や切り粉などは、高温になっていますので触れないでください。
  - ・ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
  - ・ 材料や本機などを落としたとき、事故の原因になります。
5. 本機を作動させたまま床などに放置しないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
6. 必ず本機を作動させてから、加工材料にあててください。

## 注

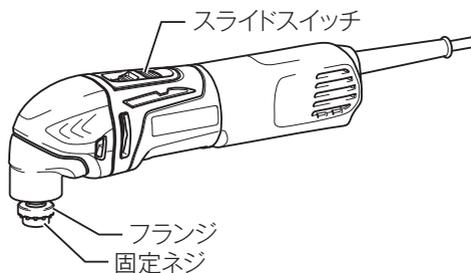
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
2.0mm <sup>2</sup>	50m	30m	20m

- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

## 各部の名称および標準付属品



### 標準付属品

- ・ ブレード (品番 A-53263)
- ・ サンディングパッド (品番 A-53447)
- ・ サンディングペーパー (木工用#60/#120/#240各2枚)
- ・ 六角棒レンチ
- ・ ツールボックス

## 別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは当社営業所へお問い合わせください。

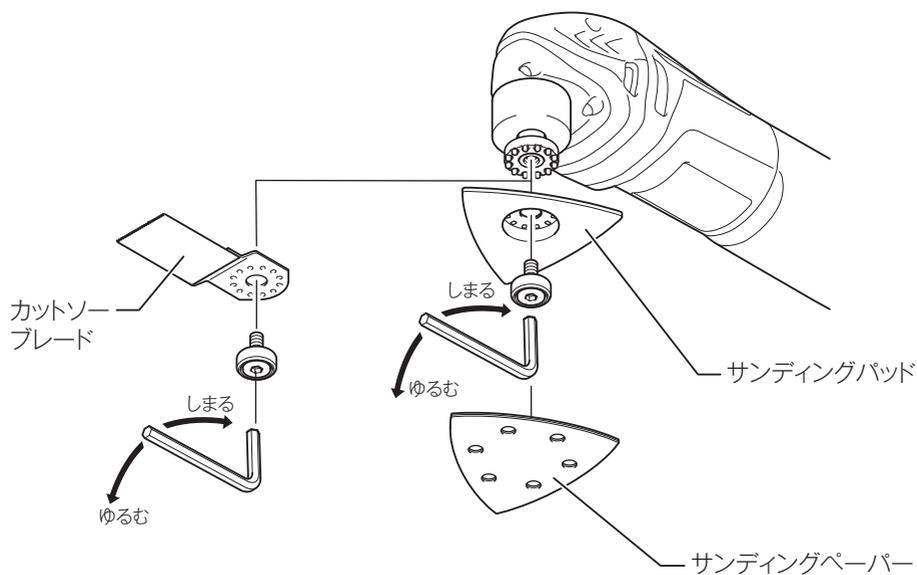
# 使い方

## 先端工具の取り付け・取りはずし方

### ⚠ 警告

先端工具の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。



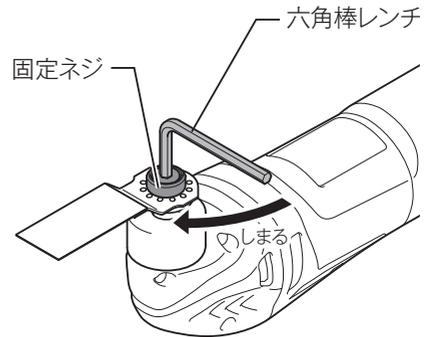
# 使い方

## 取り付け方

- ・ フランジの凸に、先端工具の穴を合わせて差し込みます。

## 注

- ・ 先端工具の表裏をまちがえないようにご注意ください。(前ページイラスト参照)
- ・ 作業に合わせて、先端工具の先端向きを決めてください。30°ごとに設定することができます。
- ・ 固定ネジは六角棒レンチでしっかり締め付けてください。
- ・ 固定ネジをフランジに差し込み、六角棒レンチで回して締め付けます。
- ・ 研磨用先端工具のときは、サンディングパッドの向きに合わせてサンディングペーパーを取り付けます。
- ・ パッドはマジック式ですので、工具なしで素早く交換できます。
- ・ サンディングペーパーは吸じん用の穴あきタイプになっていますので、サンディングパッドの穴に合うように取り付けてください。



## 取りはずし方

- ・ 研磨用先端工具のときは、サンディングペーパーの端を持ち上げ、引きはがします。
- ・ 固定ネジを六角棒レンチで回してゆるめます。
- ・ 固定ネジをはずして、先端工具を取りはずします。

# 使い方

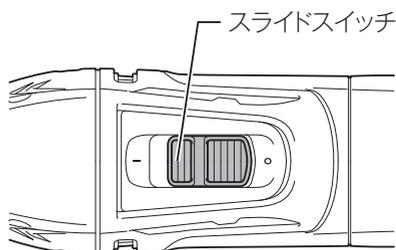
## スイッチの操作

### ⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

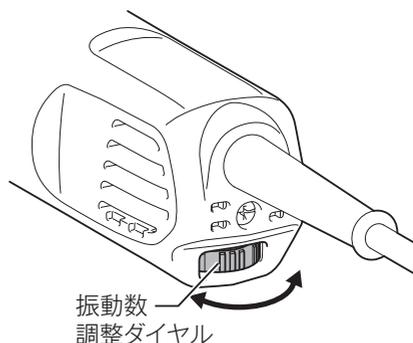
- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

- ・ スイッチはスライドスイッチを「I」側にスライドさせると入ります。停止するには、スライドスイッチを「O」側にスライドすると切れます。



## 振動数調整ダイヤルの操作

- ・ 振動数調整ダイヤルを回すことにより、 $6,000 \sim 20,000 \text{min}^{-1}$  (回/分) の間で自由に振動数が変えられます。
- ・ ダイヤル表示は1～5まであり、数字が大きくなるに従って振動数が多くなります。
- ・ 材料の種類に合ったダイヤル表示を選んでください。



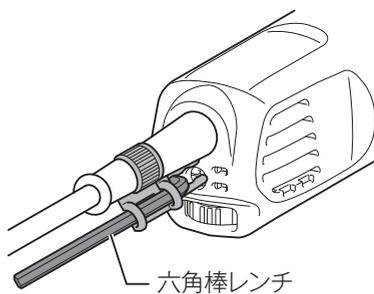
## 注

- ・ 振動数調整ダイヤルは1 → 5、5 → 1 へと回すことができません。無理に回しますと故障の原因となります。必ず、1 → 2 → 3 → 4 → 5、5 → 4 → 3 → 2 → 1 の順番に回してください。

## 使い方

### 六角棒レンチの収納

- 六角棒レンチは図のようにコードガードに収納することができます。



## 作業方法

### ⚠ 警告

作業するときは、本機の先端部に手や顔を近づけないでください。

### ⚠ 注意

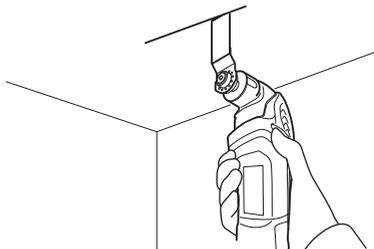
モータがロックする、または本機が停止するような負荷を本機に与えないでください。

## 切断、はく離作業

### ⚠ 注意

刃が付いていない方向(側面など)へ無理に本機を押し進めないでください。

- ・ 故障の原因となります。
- ・ 先端工具を材料に当てます。
- ・ 先端工具の動きが鈍くならない程度に、本機を前に進めます。



### 注

- ・ 無理に力を入れたり、前に進めようとしても早くは切れません。
- ・ 切断作業はダイヤル3～5を推奨します。

# 作業方法

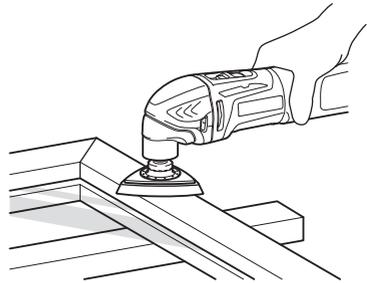
## 研磨作業

### ⚠ 注意

金属の研磨に使用したサンディングペーパーは木材の研磨に使用しないでください。

摩耗したり、目詰まりしたサンディングペーパーは使用しないでください。

- ・ サンディングペーパーを材料に当てます。

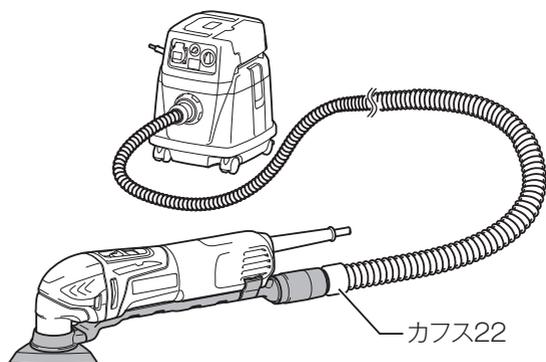
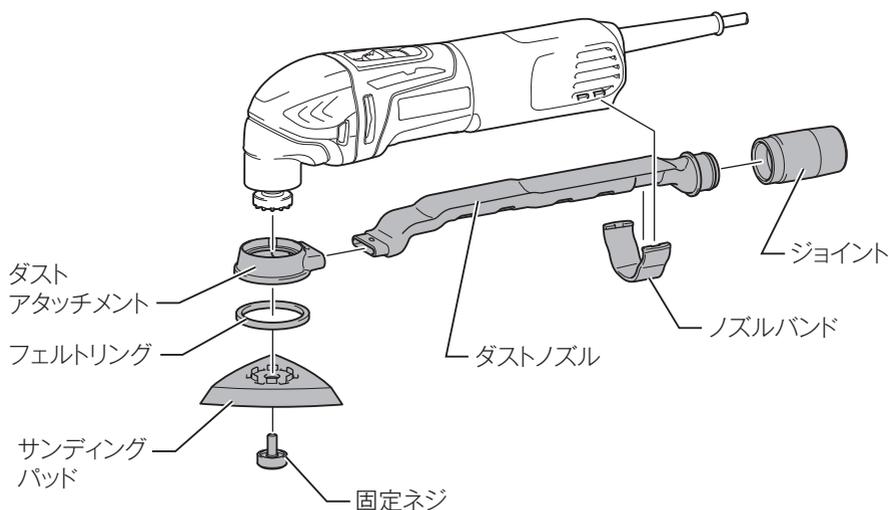


### 注

- ・ 不要な材料で振動数を確認してから作業を行うことをお勧めします。
- ・ 加工面が一面に研磨されるまでは同じ粒度のサンディングペーパーを使用してください。途中で粒度の異なるサンディングペーパーに取り替えるときれいに仕上がらない場合があります。

## 作業方法

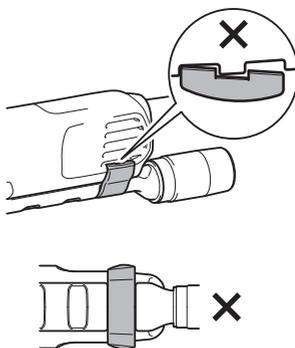
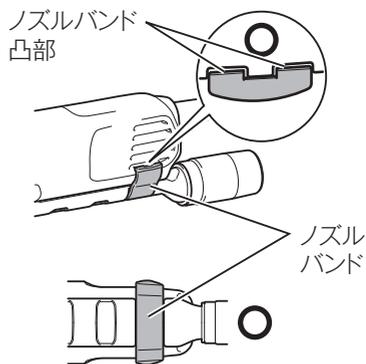
### 集じんアタッチメント（別販売品：品番 A-55186）との接続



- 木材を研磨する際には、マキタ集じん機との接続による集じんアタッチメントをお勧めします。作業時に発生する粉じんが大幅に低減しますので、クリーンな作業が可能となります。また、作業後の作業場の清掃、本機のメンテナンス作業も軽減されます。

## 作業方法

- ・ ノズルバンドを取り付ける際は、図のようにノズルバンドの向きに注意してください。ノズルバンドの4ヶ所の凸が本機の凹にはまるように組み付け、ダストノズルを本機に固定します。
- ・ ダストアタッチメントにフェルトリングを当て、サンディングパッドを取り付けて、フェルトリングを固定します。
- ・ ジョイント部にカフス22を差し込み、接続します。



## 保守・点検について

### 本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

### 注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

### ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882634C9  
NNP

**株式会社 マキウ**

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502  
TEL.0566-98-1711 (代表)